

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア
評価実施年月日	令和7年8月31日
評価者氏名（職名）	金川 めぐみ（和歌山大学教授）
評価対象年度（期間）	令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	✓	□	☑	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	✓	□	☑	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
✓	□	☑	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：移送部	45%
		第2位：清山荘	40%
		第3位：お助け	5%
		介助部	5%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外（管理部門等）			5%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「ー」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	✓	□	☑	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☒	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	✓	□	☒	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☒	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	✓	□	☒	□
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	✓	□	☒	□
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	✓	□	☒	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	✓	□	☒	□
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	✓	□	☒	□
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	✓	□	☒	□
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	✓	□	☒	□

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	✓	□	☒	□
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	✓	□	☒	□

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	✓	□	☒	□
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	✓	□	☒	□

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	✓	□	☒	□
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☒	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	一般市民
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	・送迎用マイクロバス等に募金箱を設置 ・イベント、教室での寄付募集
③ 評価対象年度における寄附者の人数	5人
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 個人への呼びかけ、善意の少額寄付にとどまっている為
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	法人等へ活動内容説明を行い、賛同を得て、寄附獲得を図りたいが、人員、時間的に余裕がない。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	✓	□	☒	□
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☒	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	行政から補助金の支援
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	法人に賛助会員になってもらうための依頼活動
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	支援依頼を行うスタッフ不足

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

令和6年度の事業実施報告書を見ると、1運転部、2介助部、3企画部、4せいざん（清山荘）の4事業が実施されており、いずれの事業も本NPO法人の活動意義をよく理解し実施されている。上記事業の成果として、主要事業である①の「運転部」事業は、令和6年度利用会員約1,319人、総送迎回数36,364回と堅調であり、本事業の成果は大きい。また②の介助部における市立病院の病院介助ボランティアの安定実施や、④のせいざん部門の管理における実績は入館者前年度比99.3%とほぼ令和5年度の来館者数を維持している。団体の活動趣旨を理解し適切な活動をされており、事業運営費に見合った活動実績を上げており成果がある。

そして社会に対しての活動成果の発信として、清山荘の運営管理を通じて、つどいの場を活用することにより特に綾部市民に対し情報発信を積極的に行っていることが事業報告書からわかる。令和4年度より再開した「せいざん・ユニセフまつり」は令和5.6年度も引き続き実施され、令和6年度は実績517人の来場者数を得た。

HP (<https://www.ayabe-wf.net/>) も閲覧者にわかりやすく作成され、新着情報の発信についておりこの点を高く評価できる。合わせてさらに身近な広報媒体としての会報等の定期発信に努めて頂きたい。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

同法人の理事会議事録、総会議事録、事業報告書等の各種書類を確認したところ、財務管理の透明性について問題ない状況であった。

また組織運営の体制等も、各種書類を確認したが、いずれも問題ないと確認できた。

情報公開についてであるが、事業報告書などもきちんと作成できており、こちらの適切性についても十分であると考える。

コンプライアンス（法令遵守等）については、同法人の服務規程および会員への研修会の内容を確認した。特に福祉有償運転を実施する事業を有するNPOとしては、安全管理やリスクマネジメントは大事な要素だが、この点も令和6年度の安全運営管理者講習会や会員研修の中で実施されていることが確認でき、適切に配慮されていると考える。

また、組織運営の透明化のためには、会員相互の意思疎通が図られているかが重要な要素であるが、令和6年度においても、「ボランティア交流会」や「運転部意見交換会」等、会員の意見をくみ取る場の設定が工夫されており、この点についても問題ない運営がされていると考える。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかな。

本外部評価書にも記載があるように、寄付を獲得する為の取組として、送迎用マイクロバス等に募金箱を設置したり、イベント、教室での寄付募集を随時行っており、法人に対する支援として寄付を受けるための工夫の取組は一定程度行っていると考えられる。

また寄付以外の支援として、運転部を実施するためには継続的な人的支援の確保（運転会員の維持・増強と質の担保）が大事になってきており、その点もフロンティア講習会などの機会を踏まえて実施されていると考える。

今後は法人におけるイベント実施等のさまざまな寄付の機会をとらまえて、さらに多くの寄付や寄附以外の支援も実施も着実に行えるよう、法人内部での検討を引き続き進めて頂きたい。

令和6年度、本団体は創立25周年を迎える12月15日には記念式典の開催、および記念のリーフレットも発行された。リーフレット中において法人の現状と今後の方向性を適切に分析されている。地域に根差したNPO法人として、その活動内容の意義は深く、これまでの活動実績を評価するとともに、さらに必要とされる地域ニーズを敏感に把握しながら、更なる活動を継続していかれることを期待する。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
会報等の定期発行について	現在、「清山荘ってどんなところ」という写真等を多用した冊子を作成中であり、また、年2回の清山だよりを作成予定。入館者を増やし清山荘の更なる利用率向上に取り組んでいきたい。

備考（審査委員会のコメント）

寄附の獲得について、寄附を依頼する封筒を利用者等へ配るといったアナログな方法や、無料送迎サービスでの送迎先のスーパーや商店等、団体利用者が客となっており、団体の送迎サービスの価値を分かっている存在に対して、積極的にアプローチしてみてはどうか。

また、どのような法人から寄附を集めれるか等、イメージが掴み切れていない場合は、京都府の専門家派遣事業を活用してファンドレイザーへ相談する等で解像度を上げていくことを検討いただきたい。

この様式について

- 京都府又は京都市の条例指定を受けたN P O法人（特定非営利活動法人）の外部評価を実施する際の基本的な評価項目を提示したものです。
- 所轄庁（京都府又は京都市）に提出された評価結果は、京都府・京都市の審査委員会に報告するとともに、所轄庁において一般に公開します。
- 記入欄の大きさは、適宜調整してください。また、他の評価項目が必要な場合は、適宜項目を追加してください。

記 入 要 領

- ① まず、外部評価を受ける**評価対象法人**が、1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄のうち、「**法人自己評価**」欄に自己評価結果を記入してください。
また、1ページの1（1）イの主たる事業等に割く労力の割合に関する表及び3ページの「**2 法人に対する支援の状況**」の二つの「**法人記入**」欄についても、評価対象法人が記入してください。
- ② その後、**評価者**が1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄の「**外部評価**」欄（太線枠内）に外部評価結果を記入してください。
また、4ページの三つの所見欄「**3 法人の事業活動に関する所見**」、「**4 法人の組織運営に関する所見**」及び「**5 法人に対する支援に関する所見**」（太線枠内）には、チェックリストの評価項目を含め**評価者**が評価した結果について、それぞれ分けて記入してください。
- ③ 5ページの「**評価対象法人記入欄**」の「**6 外部評価結果への対応状況**」に、外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況について、外部評価を受けた**評価対象法人**が事項ごとに分けて記入してください。